

暮らしの手引き・暮らしの手引き+ (プラス) ページ移動について

アンダーバーの付いているページをクリックすると、該当ページに移動します。
※見開き2ページが表示されます。

目次

【飲食物編】 P.11

【暮らし編】 P.21

【健康編】 P.33

【ヒントの解説】 P.41

【飲食物編】 P.15

【暮らし編】 P.21

【健康編】 P.33

【ヒントの解説】 P.41

【暮らしの手引き+ (プラス)】 P.43

1 除染がされていない山からの水を水道水に使っているのは不安です。

放射能が検出されている山からの水は、水道水に使用されているのは不安です。

放射能が検出されている山からの水は、ほとんど流出していません。また、水道水は安全性が確認されています。

専門家からの暮らしのヒント

ヒント 樹木に付いた放射性セシウムは、だんだんと土へ移り、土の中に留まります。

ヒント 山から流れ出る放射性セシウムはほとんどありません。

ヒント 水道水の安全性を確認するための検査が続けられています。

なぜ? どうして? もっと詳しく知りたい方は **P.43** へ

メモ

アンダーバーの付いているページをクリックすると、該当ページに移動します。
※見開き2ページが表示されます。

アンダーバーの付いている番号をクリックすると、該当ページに戻ります。
※見開き2ページが表示されます。

1 ヒントの解説

除染がされていない山からの水を水道水に使っているのは不安です。

水源地から放射能が検出されている山からの水は、ほとんど流出していません。また、水道水は安全性が確認されています。

放射能が検出されている山からの水は、ほとんど流出していません。また、水道水は安全性が確認されています。

2 ヒントの解説

福島県で採れた魚や貝類は食べても問題ありませんか?

福島県に水揚げされた海産物については万全な検査体制が確立されており、市場に流通している魚や貝類は安心して食べられます。

解説1 福島県のモニタリング調査により、福島県で採れた魚や貝類の放射性セシウム濃度は安全基準を下回っていることが分かっています。平成27年には検出されなかった放射性セシウム濃度の検出がなかった海産物は、放射性セシウム濃度の検出がなかった海産物です。

解説2 福島県の沿岸漁業は、県のモニタリング検査において安全性が確認された魚種を対象に平成24年6月から試験的な検査を行っています。試験検査では、福島県漁業の試験検査対象魚種は、福島県漁業の試験検査対象魚種に比べて、放射性セシウム濃度の検出がなかった海産物です。

解説3 放射性セシウムが海流の方向と一致して浄水場に入ったとしても、それは浄水処理により除去されます。また、福島県の放射性セシウム濃度は、安全基準が確認されています。

福島県の水道水の検査結果は、いずれの地点の水道水の検査結果も検出限界(1Bq/l)以下です。福島県の水道水等のモニタリング検査結果は、「しんぶん赤松」ステーションや厚生労働省のホームページで知ることができます。

より詳しい検査結果や安全性が確認された魚や貝類の検査結果については、福島県ホームページ(福島県ホームページ)をご覧ください。